

令和7年度 教育課程特例校における特別な教育課程【実施状況報告】

箕面市立止々呂美中学校

1.概要

箕面市では平成27年4月から教育課程特例制度を活用し、箕面市立中学校の全学年において、「英語コミュニケーション科」を設定し、全ての学年で毎日英語に触れる取り組みを行っています。

市内の中学校では、年間140時間(週4時間)の外国語科(英語)に加えて、総合的な学習の時間から年間30時間削減し、「英語コミュニケーション科」の授業時数に充てています。英語コミュニケーション科を週に1時間程度設定することで、毎日英語に触れられる環境づくりを行うことができます。特別の教育課程を実施することで、9年間を通して子どもたちが毎日英語に触れられる環境づくりを行っていきます。

2.学校関係者からの意見（実施の成果及び課題など）

- ・保護者からは、ALT が授業だけでなく休み時間や給食時間にも生徒と英語を交えて交流していることについて好意的な意見が寄せられており、生徒が英語に親しむ機会の充実につながっている。
- ・英語を使用することへの抵抗感が少なくなり、授業内で積極的に発話しようとする生徒が増えている。また、外国の文化や異文化理解への関心も高まっている。

3.今後に向けて（課題の改善のための取組など）

- ・英語コミュニケーションに慣れ親しみ、スピーキング能力・リスニング能力を高めるために各校に3名以上配置されている ALT(英語指導助手)を中心に授業を展開していく。授業以外でも、生徒がALT と英語でコミュニケーションをとる機会を増やし、自然と英語に親しみがもてるようにする。
- ・英語科教員の負担を減らすためにも、AI 英語学習教材を活用し、生徒に応じて設定された課題やテーマにおいて、AI を相手に英語でのやりとりができるように進めていく。